

Q : 寒冷地仕様の装備を教えて。

アクリア

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。

選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。

なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

<○：設定あり - : 設定なし>

項目	説明	寒冷地仕様	標準仕様	Crossover	"リフレクション"セレクション	G	S	L
						G	S	L
冷却水（LLC）	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%になると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	LLC濃度50%	LLC濃度30%	○	○	○	○	○
サブマフラー	従来捨てられていた排気熱でエンジンの冷却水を加熱して、ヒーターやエンジンの暖機を促進します。	排気熱回収器 あり	排気熱回収器 なし	○	○	○	○	○
ウインドシールドガラス	ガラスの中間膜に遮音層を設定することで、車室内の騒音を減少させ静粛性が向上するガラスになります。	グリーン/ グリーン合わせ 高遮音性	グリーン/ グリーン合わせ	-*1	-*1	-*1	-*1	○
ウインドシールドデアイサー (フロントワイパーデアイサー)	雪だまりや凍結によりワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配した物です。（下図1）	あり	なし	○	○	○	○	○
ウインドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用 (モーター)	標準	○	○	○	○	○
リヤウインドウワイパー	ウォッシャー連動間欠リヤワイパーが装着されます。 雨や雪などを拭き取り、ドライバーの視野を確保します。	あり	なし	-*2	-*2	-*2	-*2	○*3
ウォッシャータンク	ウォッシャー液切れを防ぐため、タンクの容量をアップしています。	4.8L	1.8L	-*4	-*4	-*4	-*4	○
ヒーターリヤダクト	後席足下にダクトを設け、温風を送り足の冷えを防止します。（下図2）	あり	なし	○	○	○	○	○
エアコン	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う装置（電気式補助ヒーター）です。エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房ができます。	補助ヒーター あり	補助ヒーター なし	○	○	○	○	○
アウターミラー	ドアミラーを暖めて霜・露・雨滴を取り除くものです。 リヤウンドデフォッガーSスイッチと連動しています。	ヒーター付き	ヒーターなし	○	○	○	○	○

■ アクリアのバッテリーは、寒冷地仕様を手配しても変わりません。

通常、寒冷地ではエンジン始動時の負荷が大きいため、バッテリーを大きくしているが、HV車は補機バッテリーでエンジン始動しないため、補機バッテリー変更の必要がありません。

*1 グリーン／グリーン合わせ 高遮音性が標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

*2 リヤウンドウワイパーありが標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

*3 リヤウンドウワイパーと寒冷地仕様はセットでメーカーオプションです。

*4 ウォッシャータンク4.8Lが標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

＜上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備＞

装備	説明
リヤフォグランプ *5	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 装着時、運転席側（右側）のバックアップランプがリヤフォグランプに変わります。（下図3）
ウインターブレード *6	降雪時、通常のワイパープレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。 そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

*5 寒冷地仕様を選択した場合のみ、リヤフォグランプをメーカーオプションで選択できます。

*6 ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。

